

トップマネジメント コース 2022

Top management

戦略思考に基づいたビジョンを語り、
先頭に立って実践できるトップリーダーの養成



期間 7月～12月

日程 水曜日 [毎週] 18:00～20:30 ※合宿、日中時間帯の開催あり

対象 取締役、執行役員、事業部長、部長

会場 経営アカデミー 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階
(東京駅丸の内北口より徒歩3分/地下鉄 大手町駅B2b出口よりすぐ)



経営アカデミーとは

時代の変化を捉え、意識を変え、 行動を変える学びの場

経営アカデミーは、1965年創設以来、絶えずテーマ、カリキュラム等を進化させながら長く支持されるビジネススクールとして、これまで15,000名を超える方々に受講いただきました。修了者には経営アカデミー・マスターの称号が与えられ、産業界のリーダーとして多方面で活躍されています。

※「経営アカデミー・マスター」称号(全日本能率連盟登録資格称号第14号)



経営アカデミーが**目指す経営人材**とは

現在は経営を取り巻く環境の複雑性が増し、想定外の出来事が次々起こり、将来予測が困難な環境にあります。急速な技術革新は、産業構造変化を加速させて脅威となるとともに、組織の生産性を高める機会ともみなされています。経営アカデミーは、このような大きな時代の変化の中で、自ら課題を設定し、仮説を立て、多様なステークホルダーを巻き込みながら、主体的に価値を創造していく行動力あるビジネスリーダーの養成を目指します。

トップマネジメント・コースでは、
戦略思考に基づいたビジョンを語り、
先頭に立って実践できるトップリーダーの養成を
 目指しています。



本コース講師陣

Instructors

[コース委員長]



松本 正義
住友電気工業 会長

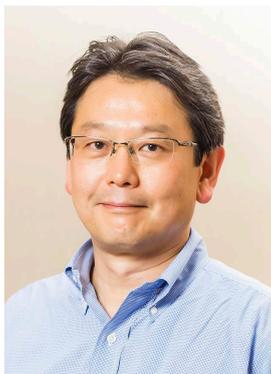
[コーディネーター]



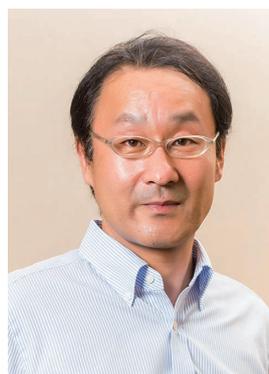
加護野 忠男
神戸大学 特命教授



内野 崇
学習院大学 名誉教授



浅羽 茂
早稲田大学
ビジネススクール 教授



米山 茂美
学習院大学 教授



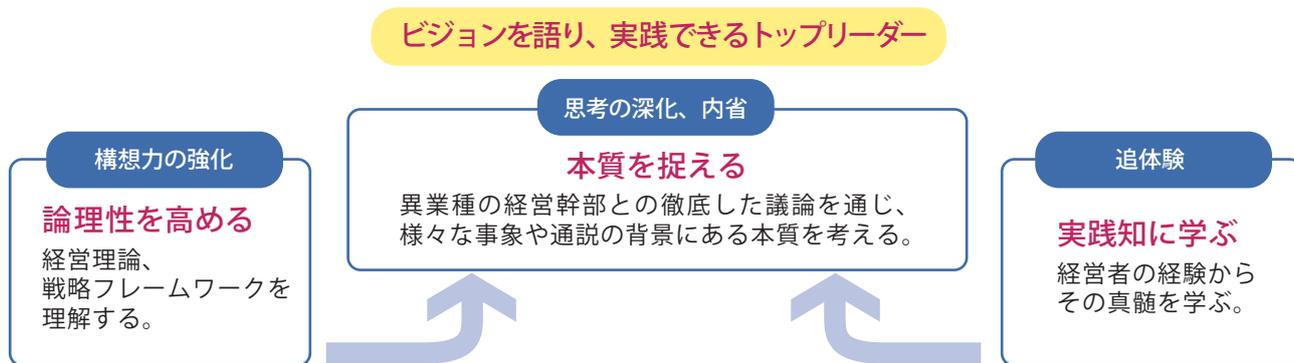
安藤 史江
南山大学 教授

[講師陣]

浅羽 茂	早稲田大学ビジネススクール 教授	柄澤 康喜	三井住友海上火災保険 会長	西山 茂	早稲田大学ビジネススクール 教授
安藤 史江	南山大学 教授	木川 眞	ヤマトホールディングス 前会長	富山 和彦	経営共創基盤 IGPIグループ 会長
内野 崇	学習院大学 名誉教授	倉重 英樹	シグマクス 会長	松崎 正年	コニカミノルタ取締役会 議長
加護野 忠男	神戸大学 特命教授	齋藤 卓爾	慶応義塾大学ビジネススクール 准教授	山田 英夫	早稲田大学ビジネススクール 教授
金井 政明	良品計画 会長	酒巻 久	キヤノン電子 会長	米山 茂美	学習院大学 教授

(過去2年実績)

日本を代表する経営者による経営の真髓の伝授、講義やケーススタディを通じた戦略フレームワークの理解、異業種の経営幹部との徹底した議論により、トップリーダーに求められるマネジメント力を磨く。



[日程概要]

月	テーマ	講義・演習	グループ研究	自己課題
7月	大局的な視点から本質を捉える 	<ul style="list-style-type: none"> 世界観、歴史観、文明観を身につける DX、SX時代の企業経営、トップ判断の重要性を考える <p>第1回 合宿 (1泊2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営戦略の論理 戦略構築のフレームワークを習得する 	グループ編成 グループ研究【1-2】	自己の振り返りと研修目標の設定
8月	経営者の経験と実践知に学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 経営の本質とは何か～企業変革におけるトップの役割 勝ち残る企業づくり～コーポレート・ガバナンスを考える <p>第2回 合宿 (1泊2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営視点の企業分析 全社戦略と事業ポートフォリオ 	グループ研究【3-4】 テーマ探索 グループ研究【5-7】 テーマ発表	各講義の気づきと学びを整理
9月	組織をどう方向に変えるのか 世界から日本を見る	<ul style="list-style-type: none"> 組織変革をどう実践するか～ありたい姿、あるべき姿から構想する <p>海外 (アジア視察)</p> <p style="text-align: center;">   ベトナム カンボジア </p> <ul style="list-style-type: none"> 世界・アジアの視点から自社の事業をどう位置付けるか アジアの成長マーケットをどう取り込むか 生産拠点・サプライチェーンをどう構築するか 	グループ研究【8-9】	
10月	これからの経営を考える	<ul style="list-style-type: none"> 企業価値向上とM&A イノベーション～違いをどう創り出していくのか 	グループ研究【10-12】 中間発表 グループ研究【13-14】	中間振り返り
11月	リーダーの決断と実践を学ぶ	<p>第3回 合宿 (1泊2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機に問われるリーダーの覚悟 顧客価値とビジネスモデルを考える <ul style="list-style-type: none"> 企業理念を経営に活かすには～理念による組織マネジメントとモチベーション 	グループ研究【15-16】 グループ研究【17】	
12月	実践への応用を決意する	【グループ研究成果発表】	グループ研究【18-20】 報告書とりまとめ	研修成果の振り返りと実践目標の設定
2023年	フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> 研修後の取り組みに関する情報交換 		

[講義] 16コマ + 選択講義 + フォローアップ [グループ研究] 20コマ

※ 講義とグループ研究の各コマ数は2021年度実績をもとに表示。プログラムとスケジュールは変更される場合があります。
 ※ 2020、2021年度は、新型コロナウイルス感染症発生により、海外調査は実施できませんでした。

※適宜オンラインを活用し、参加者の利便性を向上させています。

講義

知の獲得と議論の場

01 大局的な視座から本質を捉える

- 日本の経営の善さ、強さ
- 経営者の視点(戦略発想の本質)、コーポレートガバナンス
- DX(デジタル・トランスフォーメーション)、SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)時代の企業経営、事業戦略

03 組織を動かす要諦、意思決定と行動のあり方考える

- ポストコロナを見据えた企業経営、リーダーシップ
- 経営理念と意思決定、組織変革とトップの覚悟
- 経営者に求められる覚悟と決断

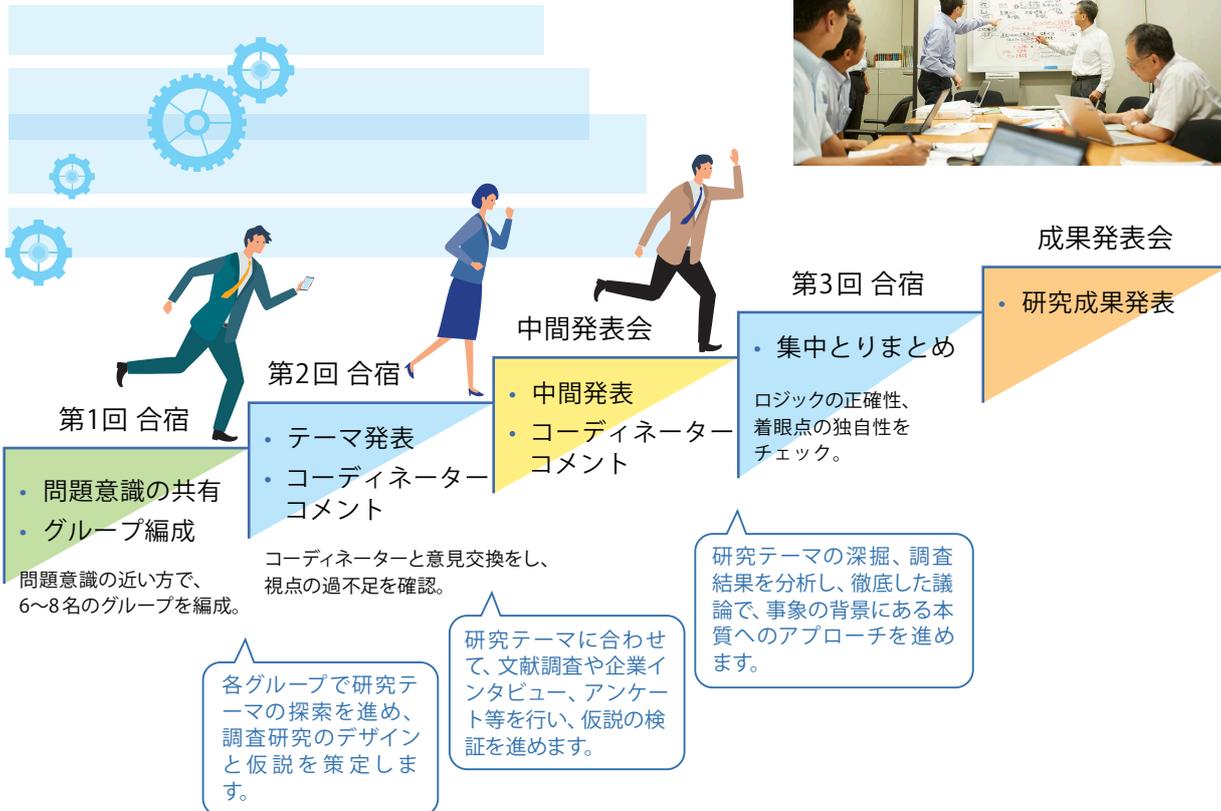
02 本質をあぶりだす フレームワークを身につける

- 経営戦略の論理、事業ポートフォリオ、M&A
- ビジネスモデルの構造を見抜く
- イノベーションと市場創造、事業価値向上
- 経営視点の企業分析、財務諸表の読み方

グループ研究

参加者相互の問題意識をベースとした議論と整理の場

[グループ研究のプロセス]



講義とグループ研究を並行して進めることで、体系的な学習と実務の往復を促し、自己課題フィードバックにより実践へと橋渡ししていきます

自己課題

自己の振り返りと定着の場

講義ごとに学んだこと、自社の経営や業務にどう具体的に活用するか、レポートを作成。研修前、中間、終了時点で自己の振り返りを行い、研修効果を確実にいたします。



コースの特色

1. 様々な角度からものごとを捉える視点を持つことによって
ビジョン構想力、課題解決能力、問題発見能力の向上を重視しています。
2. 色々な分野の第一人者にご登壇いただき、優れた論理展開力を学びます。戦略課題に取り組むにあたり、戦略的思考とは何かについて、実践的な思考訓練を交えながら議論し理解を深めます。
3. トップ経験者との対話の中からリーダーシップの本質に触れ、
経営者に求められる意思決定力や覚悟、行動のあり方を考えていきます。
4. グループ研究では、3回の合宿をはじめ異業種の経営幹部との徹底した議論の機会を設定しています。参加者相互の多様な視点を理解し、自分のものの見方や行動の特性を振り返るとともに、
豊かな人脈を得ることができます。
5. 自社・自組織のビジョン達成に向けた戦略課題、本質的な問題の所在と対策について、
指導講師陣および受講者相互で徹底した議論を行います。
6. 成果は、与えられるものではなく、一人ひとりが創り上げていくものです。
積極的な問題提起や発言が内容をより充実したものに高めていきます。



参加者の声

経営者からは技術的なことではイノベーションを起こすことの必要性和その方法を学ぶことができた。企業の体質改善やさらなる発展のためのイノベーションやDX等社会の変遷に対応するためのイノベーションについて経営者としてどのように指揮をとられたかは大変参考になった。加えて経営者たるものの姿勢を学ばせていただいた。トラブル時には率先して陣頭指揮をとり、逃げない姿勢を見せることの大切さを学ぶことができた。
(水産・執行役員)

各社・業界の経営手法やイノベーション、デジタルトランスフォーメーションなどいろいろな内容の講話を聞き、非常に役に立った。いろいろな引き出しができた。グループ研究では、他業種の方の意見は非常に参考になった。また、やはり人脈形成が最大の成長点であったと思う。今後も相談できる人脈を形成できたのは受講した意義があったと思う。
(機械・事業部長)

企業の戦略には全社戦略と事業戦略があること。また、経営戦略にもPESTe分析など色々な分析手法があり、示唆に富むものが多かった。Society5.0実現に向けたDXの活用と人材育成が日本の労働生産性上昇のカギであり、働き方改革の先にデジタル革新と多様性の内包を見据える重要性を感じた。リベラルアーツ、語学力等の知識も重要な要素とのことであり、習得に努めたい。
(鉄道・部長)

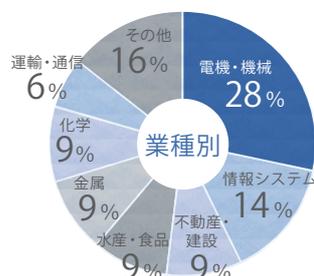
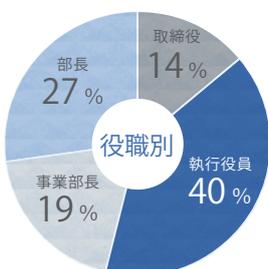
経営者講話では実現現場のことを話していただき、緊迫感や覚悟など、今まで知らなかった内容を聞くことができ、とても刺激を受けることができた。どの経営者の方も覚悟やそれに伴う考え方や思いがあり、ポリシーを持って経営をしているのだと経験者からの言葉で改めて感じた。
(IT・執行役員)

経営戦略や企業変革のテーマについて、アカデミックかつ実践的な話を数多く聞く中で、特に講話頂いた経営者の方々が、非常に広い視野で物事を考えられていることが分かった。トップマネジメントの心構えの一端を見ることができたと感じる。また、数多くの講話から、日本の企業経営において非常に大きな転換点にあることが理解できた。今回の研修参加以前と比べて、トップマネジメントとしての心構えとして、持つべき視点の認識が高まったと感じる。
(IT・部長)



参加者データ (過去3年実績)

[平均年齢51.8歳]



グループ研究テーマ (過去2年実績)

- ・レジリエントな企業経営の秘訣
～逆境をチャンスに変えて成長できる企業の本質に迫る～
- ・シニア社員 (50歳～定年前) がより元気になる方法とは
- ・ポーンとやってんじゃねえよ! SDGs
～SDGsのウマイ取り組み方はあるのか?～
- ・「三方よし」の未来
～日本型持続可能な企業のあり方～
- ・世界一魅力的な会社
～令和時代に求められる働きがいとは～
- ・パートナーシップのトリセツ
～プラスサムのパートナー関係に必要なこと～

ミニMBAプログラム

コース開講前に、「会計・財務」「戦略」などの経営に関する知識を学べるミニ講座を開催。

コースの参加者が、これから経営アカデミーのプログラムに参加するにあたり、基盤となる知識の習得や自らの知識の整理・確認ができます。（2021年度はe-learningにてご提供しております。）

選択講義

コース期間中、経営アカデミー全コースから厳選された講義を参加者へご案内いたします。

現在直面している経営課題、担当業務における問題意識に沿って、各コースで開催される講義を横断的に自由に選択し、組み合わせることで、ご自身のオリジナルプログラムを作成して受講することができます。

スキルアッププログラム

コース期間中、「ファシリテーション」「プレゼンテーション」などのスキルアップのためのプログラムを用意。

コースの参加者が、必要に応じて自由に受講でき、基礎的ビジネススキルのブラッシュアップにお役立ていただけます。

修了後のフォローアッププログラム

経営アカデミーのプログラムによって得られた成果を社での業務に活かしていくために、終講時に自らの課題を設定。終了の半年後を目安に、自らの課題への取り組みについて進捗を報告します。

学びの成果の自社での展開について、さらに効果的な取り組みへの気付きの場となります。

また、グループ単位で継続的に開催されるOB・OG会だけでなく、コース全体や年度を越えた会など、メンバーによる情報交換・事例共有の場として事務局がその開催・運営をサポートしてまいります。

海外調査

海外調査では、「大局観、歴史観の醸成と将来ビジョンの構想」を目的に、毎年アジアの新興国に赴き、現地ローカル企業、現地で成功している日系・外資企業、政府機関や経済団体などを訪問。また、現地の市場や史跡を視察し、民族や文化の源流に触れ、大局観、歴史観を醸成するとともに自社の海外事業展開を構想します。

訪問先

(近年の訪問実績)

ベトナム JETRO ホーチミン、FUJINET SYSTEMS、GS バッテリー、イオン、エースコック、プラス、リンナイ、ロート・メンソレータム

カンボジア JETRO プノンペン、協和製薬、サンライズジャパン病院、住友電装、タマホーム、プノンペン経済特区社 ほか



※2020、2021年度は、新型コロナウイルス感染症発生により、実施できませんでした。

〈最近の参加企業〉

穴吹興産、穴吹ハウジング、穴吹不動産流通、アルケア、NECソリューションイノベータ、NECディスプレイソリューションズ、エムケー精工、カスタマシステム、共和電業、杏林製薬、KDDI、サンエツ金属、三和サインワークス、ジェーシービー、水ing、高島屋、タキロンシーアイ、竹本容器、ディックスエンジンソリューションズ、テックスエンジンソリューションズ、東京地下鉄、東光高岳、鳥居薬品、日鉄ソリューションズ、日本製紙、日本ゼオン、日本食品分析センター、日本信号、日本電力、乃村工藝社、東日本旅客鉄道、日立物流、日立造船、富士ソフト、富士通、富士通エフサス、古河電気工業、マースエンジニアリング、マルハニチロ、丸山製作所、三井金属、三井住友海上火災、三井住友建設、村田製作所、明治電機工業、ユー・エス・エス、横河レンタ・リース、リックス

(50音順、企業名は参加当時のものも含む)

お申込み概要

Outline

お申込み手順

01 以下お申込みご案内WEBページより、お申し込みください。



<https://www.k-academy.jp/application/>

02 申込書受領後、確認のお電話を差し上げます。

参加費 (2022年度予定金額)

賛助会員 120万円 (10%税込 132万円)
一般 130万円 (10%税込 143万円)

参加費に含まれないもの

国内合宿費（1回あたり5～8万円程度）、海外調査費（40万円程度）、通学・合宿・企業インタビュー等の交通費、グループ研究の著書・資料代、他個別に発生する費用

経営アカデミーとは、1965年に産業界の発意と学界の協力により創設された我が国で最初の本格的な経営大学院です。当アカデミーを修了された方々は15,000名を超え、産業界のリーダーとして活躍しています。

マネジメント・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費()内10%税込	
				賛助会員	一般
トップマネジメント・コース	2022年7月～12月	取締役、執行役員、事業部長、部長	戦略思考に基づいたビジョンを語り、先頭に立って実践できるトップリーダーの養成	120万円 (132万円)	130万円 (143万円)
経営戦略コース	2022年6月～ 2023年3月	部長、課長(全職種)	自社ビジネスのあり方を見直し、次の戦略を深く多面的に考えるリーダーの養成	111万円 (122.1万円)	121万円 (133.1万円)
技術経営コース	2022年6月～ 2023年2月	技術部門、研究・開発部門の部長・課長・リーダー	CTO目線で技術を価値化するリーダーの養成	111万円 (122.1万円)	121万円 (133.1万円)
組織変革とリーダーシップコース	2022年6月～ 2023年2月	部・課・プロジェクトチーム等の組織運営を行うリーダー	人・組織・戦略の視点で組織変革を推進できる次世代リーダーの養成	98万円 (107.8万円)	108万円 (118.8万円)

プロフェッショナル・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費()内10%税込	
				賛助会員	一般
マーケティング戦略コース	2022年6月～ 2023年2月	マーケティング、営業部門の部長、課長、リーダー、戦略スタッフ	先見性・革新性・戦略的で成熟市場を打ち破るマーケティングの養成	98万円 (107.8万円)	108万円 (118.8万円)
生産革新マネジメントコース	2022年6月～ 2023年2月	生産関連部門(製造、生産管理、品質、調達等)のマネジャー、リーダー	経営と現場の視点で、ありたい姿を描き「強い工場」をつくる人材の養成	98万円 (107.8万円)	108万円 (118.8万円)
人事革新コース	2022年6月～ 2023年2月	人事部・人材開発部門のマネジャー、リーダー、戦略スタッフ	人材マネジメントに革新を起こし、世界で競争力のある強い組織創りをリードする戦略的人事リーダーの養成	98万円 (107.8万円)	108万円 (118.8万円)
経営財務コース	2022年6月～12月	経理や財務、経営管理等の業務経験が5年以上の方	経理・財務・IRを横断できるコーポレートリーダーの養成	98万円 (107.8万円)	108万円 (118.8万円)

イノベーション・リーダー養成

コース名	実施期間	主な対象者	コースの目的	参加費()内10%税込	
				賛助会員	一般
事業変革イノベーションコース	2022年6月～12月	事業責任者、企画・グループ管理・監査部門等の責任者、戦略スタッフ	トップや現場を巻き込みながら変革に邁進する中核リーダーの養成	125万円 (137.5万円)	135万円 (148.5万円)
イノベーション・デザインコース	2022年5月～7月	中堅・若手リーダー	企業の実力で未来を変革するイノベーション・デザインリーダーの養成	67万円 (73.7万円)	77万円 (84.7万円)

※参加費に含まれないもの

国内合宿費 / 1回当たり5～8万円程度(経営財務コースは合宿費のほかにビジネスゲーム使用料1万円程度)

海外調査費 / トップマネジメント・コース…40万円程度、人事革新コース、生産革新マネジメントコース…30～35万円程度

丸の内教室通学・合宿・企業見学・インタビュー等の交通費、グループ研究の図書・資料代、その他、個別的・追加的に発生する費用

※参加費、その他費用は2022年度の予定金額

お問い合わせ先

経営 k-academy

検索

 経営アカデミー 公益財団法人日本生産性本部 経営アカデミー
Academy of Management Development

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービル6階

Mail : academy_info@jpc-net.jp Web : <https://www.k-academy.jp/>

Tel : 03-5221-8455 Fax : 03-5221-8479

お問い合わせフォームはこちら

<https://www.k-academy.jp/inquiry/>

賛助会員制度につきましては、下記までお気軽にお問い合わせください。

会員サービスセンター : 03-3511-4026

